

2007年(平成19年)3月期
決算説明会

知恵をビジネスにする技術・情報企業



長瀬産業株式会社
2007年5月17日

◆ 目 次 ◆

- * 2007年3月期決算概況および2008年3月期業績見通し
- * 中期経営計画「**WIT2008**」の進捗について
- * ライフサイエンス事業について

2007年3月期の決算概況

決算の概況(連結)

(単位:億円)
(億円未満切捨て表示)

■ 2007年3月期決算概要

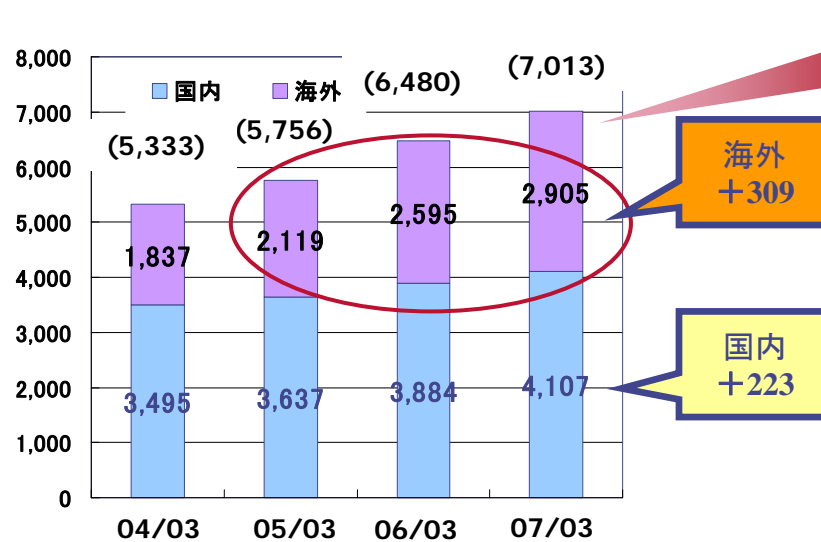
増収・増益・・・全項目で対前年比プラス、全項目で過去最高の業績

	07/3	06/3	増減	前年比	(参考) 2007年3月期 中間期時点見通し
売上高	7,013	6,480	+532	108%	6,940
売上総利益	736	676	+59	109%	735
販売管理費 (うち年金数理計算上の差異-①)	▲519 (17)	▲500 (4)	▲19 (+13)	104%	
営業利益	216	175	+40	123%	212
上記①の償却を除く営業利益	(199)	(172)	(+27)	(116%)	
経常利益	232	187	+44	124%	227
当期純利益	135	128	+6	105%	136
1株当り当期純利益	105円85銭	100円33銭	+5円52銭		—

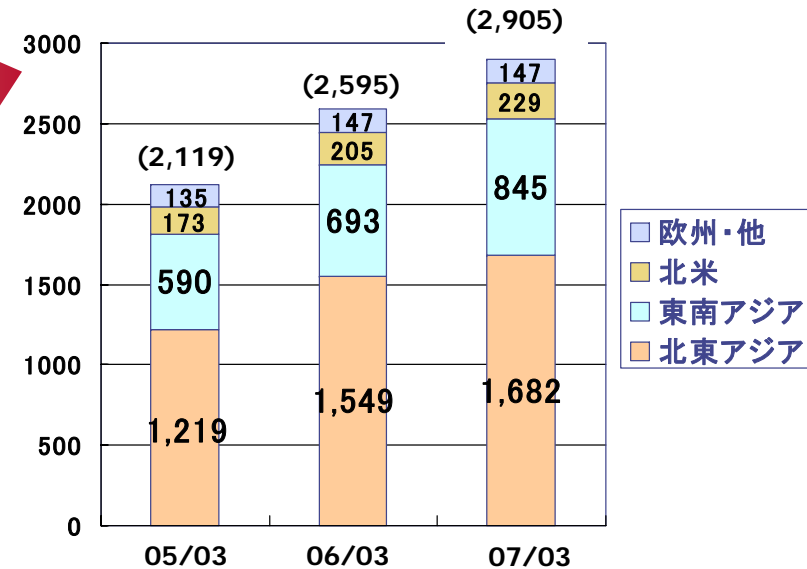
地域別売上高

(単位:億円)

売上高 7,013億円 前年比 532億円増加



海外売上の向け先別内訳



1) 海外売上比率が上昇 (37%→40%→41%)

2) 北東アジア (Gチャイナ)

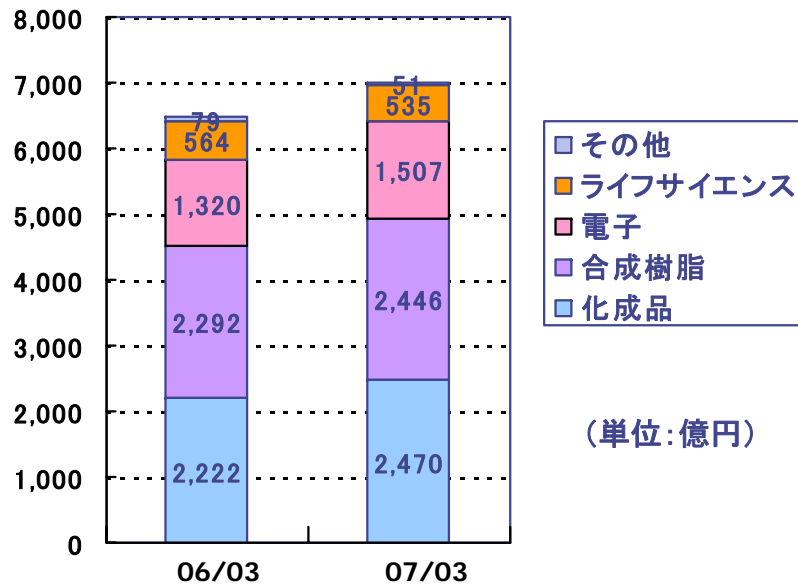
- ・華南地域の自動車関連向け樹脂及びケミカルは好調。
- ・エレクトロニクスは韓国・台湾を含め好調。
- ・光学材料用樹脂など台湾、中国内の樹脂の伸びが減速傾向。

3) 東南アジア (アセアン)

タイ・ベトナムの樹脂関連伸長の結果、東南アジアの伸びが北東アジアを上回る

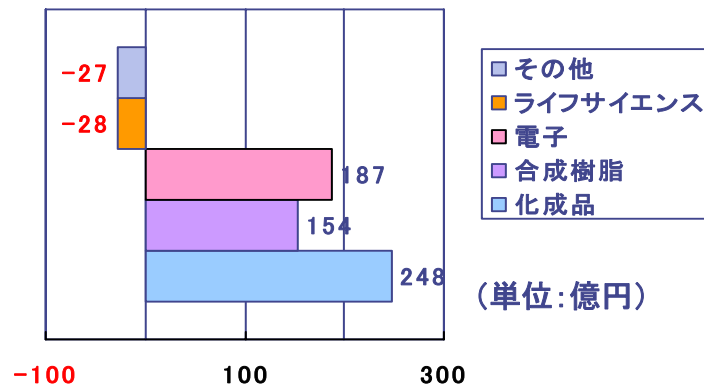
事業セグメント別売上高

(単位:億円)



(単位:億円)

売上高のセグメント別増減内訳



(単位:億円)

事業セグメント別の売上概況 (前年比)

化粧品 + 248億円 (111%)

- 塗料原料・ウレタン等の自動車関連増加
- 薄型ディスプレイ用を含む機能性添加剤等は堅調
- 有機合成原料のスペシャリティケミカル事業も伸長

合成樹脂 + 154億円 (107%)

- 自動車関連は中国華南地域ほか全般的に好調
- 精密機器用樹脂はGチャイナ、アセアンでいずれも増加
- Gチャイナでのメディア用機能性樹脂は減少

電子 + 187億円 (114%)

- 液晶用部材加工、電子機器用のアルミ外装材加工等のビジネスが増加
- 液晶モジュール、光学フィルム等の販売は減少
- 半導体等の精密研磨関連ビジネス、半導体後工程用封止材が好調
- 液晶・半導体用薬液および管理装置、変性エポキシ等の自社製品関連事業が好調

ライフサイエンス ▲28億円 (95%)

- 医薬中間体は減少
- 発酵生産物関連は微増
- メディカルケア事業撤退により減少

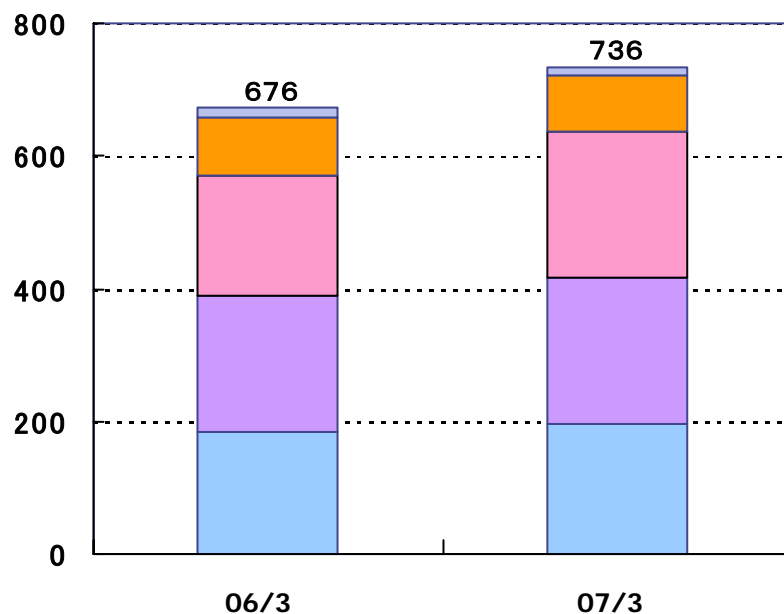
その他 ▲27億円 (65%)

- DVDプレーヤー等の機器販売が不振
- DVD映画ソフトなど一般消費者向け直接販売事業の事業譲渡(下期)

セグメント別売上総利益

(単位:億円)

売上総利益 736億円 前年比 59億円増



電子を中心とした売上の増加によるもの

セグメント別売上利益概況 (前年比較)

化粧品 + 13億円 (107%)

合成樹脂 + 14億円 (107%)

電子 + 38億円 (121%)

ライフサイエンス + 1億円 (101%)

その他 ▲6億円 (63%)

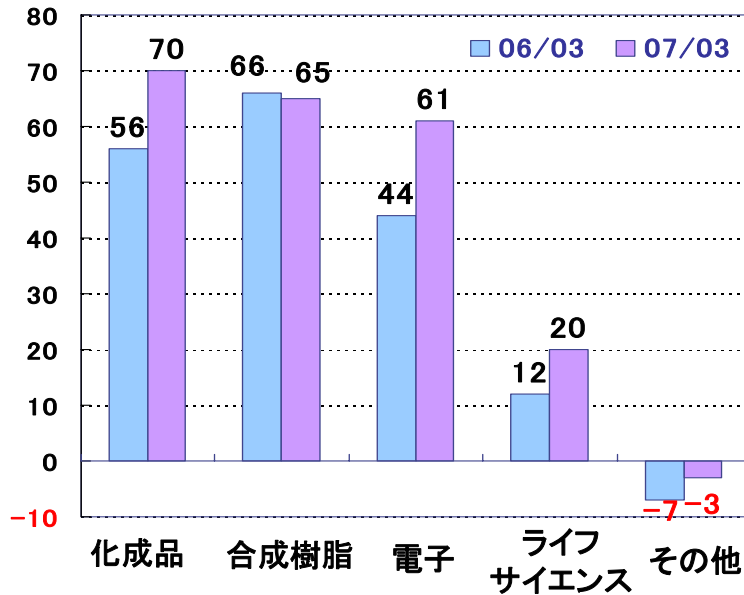
	06/3月期	07/3月期
化粧品	183	196
合成樹脂	207	221
電子	182	220
ライフサイエンス	85	86
その他	17	11

セグメント別営業利益

(単位:億円)

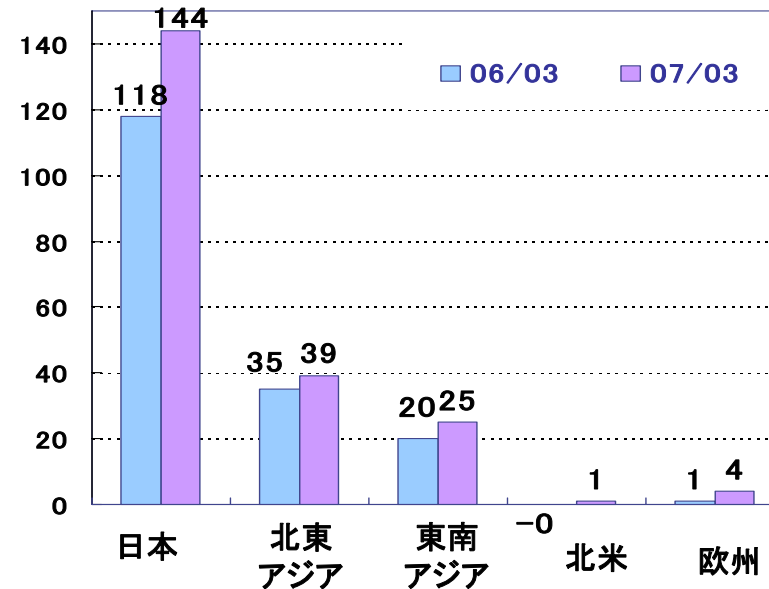
216億円 前年比123% 40億円増加

<事業セグメント別営業利益>



- 化成品は増収の影響により堅調に推移
- 合成樹脂は国内・海外とも一般管理費が増加したため微減
- 電子は単体、ナガセケムテックスの増益に加え、新規連結による増益

<所在地セグメント別営業利益>



- 日本国内は、単体の増益に加え、ナガセケムテックス等の製造会社が概ね増益
- 東南アジアはタイが樹脂・化成品とも好調
- 欧州は半導体関連子会社の新規連結により大幅増益

営業外損益・特別損益

(単位:億円)

＜営業外損益＞

	07/3	06/3	増減	前年比
営業外損益	15	12	3	130%
金融収支	6	9	▲2	69%
その他	9	2	6	325%

＜特別損益＞

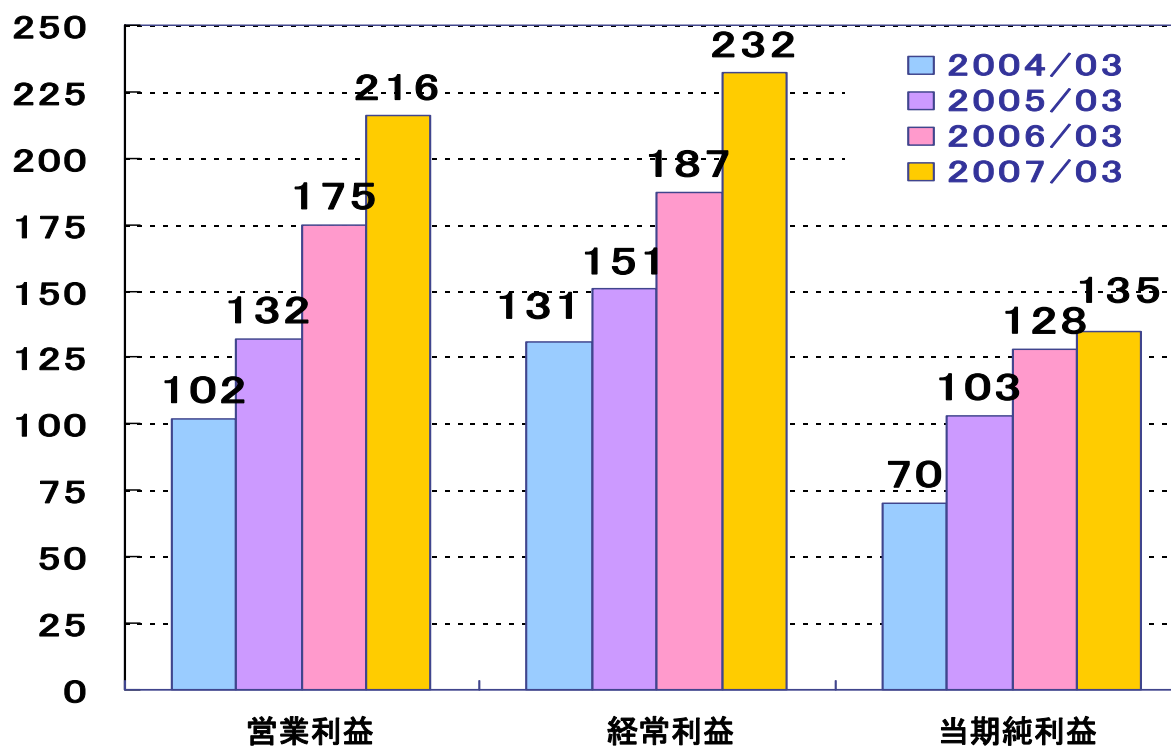
	07/3	06/3	増減
特別利益	3	22	▲19
固定資産売却益	0	10	▲10
投資有価証券処分益	2	11	▲9
特別損失	4	4	▲0
固定資産廃棄損	1	2	▲1
その他	3	2	1

經常利益・当期純利益

(単位:億円)

經常利益：232億円 前年比124% 44億円増加

当期純利益：135億円 前年比105% 6億円増加



主な貸借対照表の増減

(単位:億円)

①売上増加、期末休日要因による売上債権増加 ②株式時価の変動による投資有価証券評価額の減少

《資産》	07/03	06/03	増減	《負債及び純資産》	07/03	06/03	増減
現金及び預金	219	235	▲16	支払手形及び買掛金	1,414	1,188	+226
受取手形及び売掛金	2,180	1,946	+233	短期借入金	142	143	▲1
棚卸資産	433	402	+31	コマーシャルペーパー	—	50	▲50
その他流動資産	82	78	+4	その他流動負債	214	221	▲6
有形固定資産	318	308	+10	長期借入金	62	55	+7
無形固定資産	29	15	+14	退職給付引当金	68	59	+9
投資有価証券	880	933	▲52	その他固定負債	209	227	▲17
その他固定資産	83	48	+35	株主資本	1,709	1,595	+114
				(うち自己株式)	(▲54)	(▲56)	(+1)
				評価・換算差額等	341	370	▲29
				新株予約権	1	—	+1
				少数株主持分	64	57	+7
				(自己資本比率)	(48.5%)	(49.6%)	(-1.1%)
資産合計	4,228	3,967	+260	負債及び純資産合計	4,228	3,967	+260

キャッシュフローの状況

(単位:億円)

税前利益の増加

	07/03	主な内訳	
営業活動による キャッシュ・フロー	98	税前利益	230億円
		減価償却費	41億円
		運転資金	▲32億円
		長期前払年金費用	▲34億円
		法人税等の支払額	▲73億円
		その他	▲32億円
投資活動による キャッシュ・フロー	▲41	固定資産取得	▲30億円
		有価証券・出資金取得	▲14億円
		有価証券売却	3億円
		その他	▲1億円
財務活動による キャッシュ・フロー	▲84	短期借入金の返済	▲9億円
		コマーシャルペーパー	▲50億円
		配当金の支払	▲28億円
		その他	3億円
現金及び 現金同等物の期末残高	219	新規連結による増加	+7億円
		差引前期末比	10億円の減少

主な連結子会社の業績

(単位:百万円)

	社名	売上高	前年比	営業利益	前年比	当期利益	前年比
単体	長瀬産業	497,116	105%	8,246	121%	7,770	100%
製造会社	ナガセケムテックス	24,663	108%	2,834	147%	1,607	95%
	東拓工業	7,637	100%	659	107%	472	60%
販売会社	長瀬カラーケミカル	13,698	100%	178	343%	91	606%
	ナガセケミカル	13,697	109%	224	116%	111	120%
	ナガセプラスチック	12,975	117%	81	103%	42	95%
海外	ナガセ香港	59,607	132%	1,356	119%	1,145	122%
	ナガセシンガポール	33,084	110%	730	100%	708	104%
	ナガセタイランド	27,287	126%	1,146	152%	826	139%

2008年3月期業績見通し

2008年3月期業績見通し

(単位: 億円)

	2008年3月期 (予想)	2007年3月期 (実績)	前年比	増減
売上高	7,520	7,013	107%	+506
売上総利益	795	736	108%	+58
営業利益	219	216	101%	+2
年金数理計算上の差異 の償却を除く営業利益	(220)	(199)	(111%)	(+21)
経常利益	236	232	102%	+3
当期純利益	141	135	104%	+5

2008年3月期セグメント別売上高の業績見通し

(単位:億円)

	2008年3月 予想	2007年3月 実績	前年比
化成品	2,630	2,470	106%
合成樹脂	2,550	2,446	104%
電子	1,690	1,507	112%
ライフサイエンス	595	535	111%
その他	55	51	106%
合計	7,520	7,013	107%

中期経営計画「WIT2008」の進捗について

知恵をビジネスにする技術・情報企業

W ---- Wisdom

I ---- Intelligence

T ---- Technology

中期経営計画「WIT2008」の位置づけ

変革

推進

拡大・強化

WIT2000

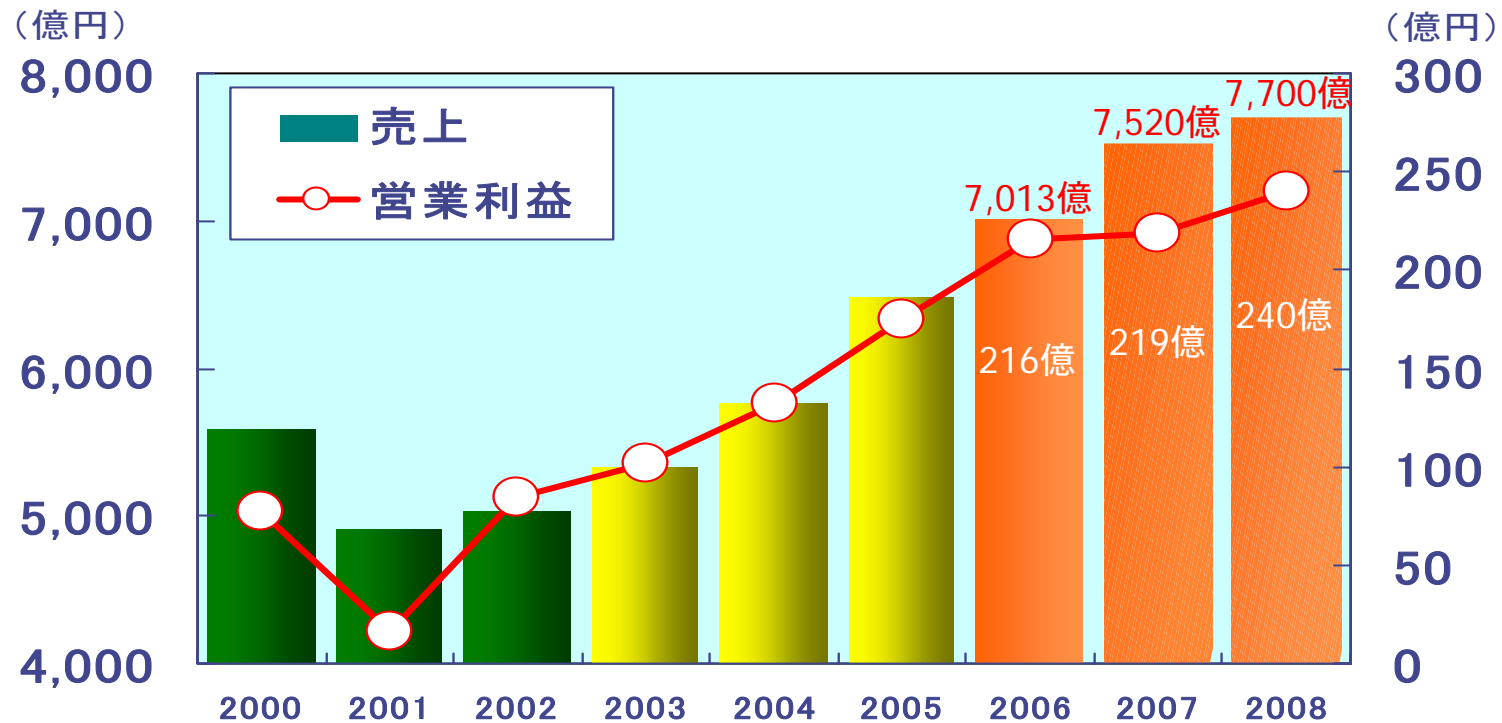
WIT21

WIT2008

- 経営基盤変革
- グループ経営開始

- 事業方向性の明確化
- 事業基盤の強化
- 経営基盤の強化

- 体質強化
- ナガセらしさの継承
- 事業ポートフォリオ戦略の深化



中期経営計画「WIT2008」基本戦略

持続的成長への体質強化

重点分野への積極投資

事業基盤の拡大

高収益への構造転換

事業ポートフォリオ戦略の深化

健全な財務体質の維持

連結経営体制の整備

リスクマネジメントの徹底

内部体制の強化

現場主義

人材の(質・量)充実

技術・情報力の強化

ナガセらしさの継承

「WIT2008」 主な施策

■重点分野への積極投資

◇エレクトロニクス分野

- ・ 半導体実装センター開設(北九州学術研究都市内)
- ・ 子会社PAC TECH 社のアジア製造拠点設立
(マレーシア)
—半導体製造用装置の製造ならびにウェハーハンピングサービス—
- ・ 液晶用ガラス加工を行う合併会社(台湾)が本格稼働

◇ライフサイエンス分野

- ・ ナガセケムテックス(株)福知山事業所でのリン脂質製造プラント着工
- ・ ナガセ医薬品(株)での無菌製剤医薬品分野において設備拡大の実施決定

(今年度の施策)

- ・ M&Aも含めた投資の促進
- ・ ナガセ主導型ビジネスの強化(ナガセの存在感のアピール)

【ラボ室クリーンブース】



半導体実装開発センター
*延床面積：約100㎡



北九州学術研修都市内
事業化支援センター

投資総額 300億円目処(3年間)

「WIT2008」 主な施策

■事業基盤の拡大

- ・ナガセアプリケーションワークショップ(NAW)の設立決定
(2007年7月稼動予定 於:兵庫県尼崎市)



ナガセアプリケーションワークショップ
完成予想図

- ・インドでの現地法人設立、ムンバイおよびデリーに拠点設置
- ・ベトナムでの合成樹脂着色事業の合併会社生産開始、順調に拡大

(今年度の施策)

- ・インド、ベトナムでのさらなるビジネスの拡大
- ・欧米における存在感のあるビジネスの構築

「WIT2008」 主な施策**■高収益への構造転換**

- ・ナガセケムテックス(株)の売上の伸長と利益率の大幅改善
- ・グループ製造会社での設備投資

(今年度の施策)

- ・グループ会社における製造機能の強化
- ・ファブレスを含む製造・加工事業の拡充

【具体例】

ナノテクノロジー事業 ⇒ NanoGram社との本格的取組み開始

フィルム事業 ⇒ フィルム事業推進室を立ち上げ、全社横断的な高機能性フィルム事業の構築



ナガセケムテックス(株)
剥離剤蒸留再生設備

「WIT2008」 主な施策

■健全な財務体質の維持

- ・キャッシュフロー重視、営業キャッシュフロー改善
- ・資産の見直し継続

■リスクマネジメントの徹底

- ・事業構造の転換に伴う新たなリスクの認識・把握・抑制
- ・法規管理の徹底・充実を図るため「コンプライアンス部」を設置
- ・内部統制システム整備への対応として「内部統制推進委員会」を設置

■連結経営体制の整備

- ・グループ経営の深化と運営体制の整備

■人材の質・量の充実

- ・「多様性」と「専門性」の確保と育成
⇒「ゼネラル・マネジメント・プログラム」の実施
外国人幹部の育成強化研修プログラム

ライフサイエンス事業について

取締役 兼 常務執行役員
ナガセケムテックス(株) 取締役社長

図子 恭一

ライフサイエンス事業概要

営業機能 約80名

長瀬産業(株)
 ファインケミカル事業部
 ビューティケア製品事業部

売上高 535億円(07/3月期)

取扱商品

酵素、発酵生産物、医薬品、医薬・農薬中間体、
 食品・飼料、化粧品、健康食品

製造機能 約100名

ナガセケムテックス(株)
 ナガセ医薬品(株)

研究機能 約70名

ナガセR&Dセンター
 ナガセケムテックス(株)
 ナガセ医薬品(株)

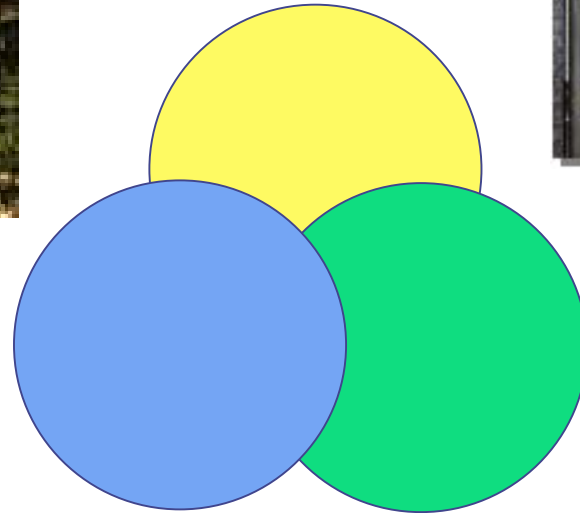


長瀬産業(株) 東京本社

営業機能

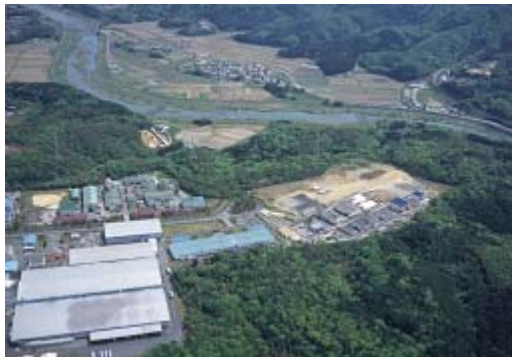


(株)ナガセビューティケア



製造機能

研究機能



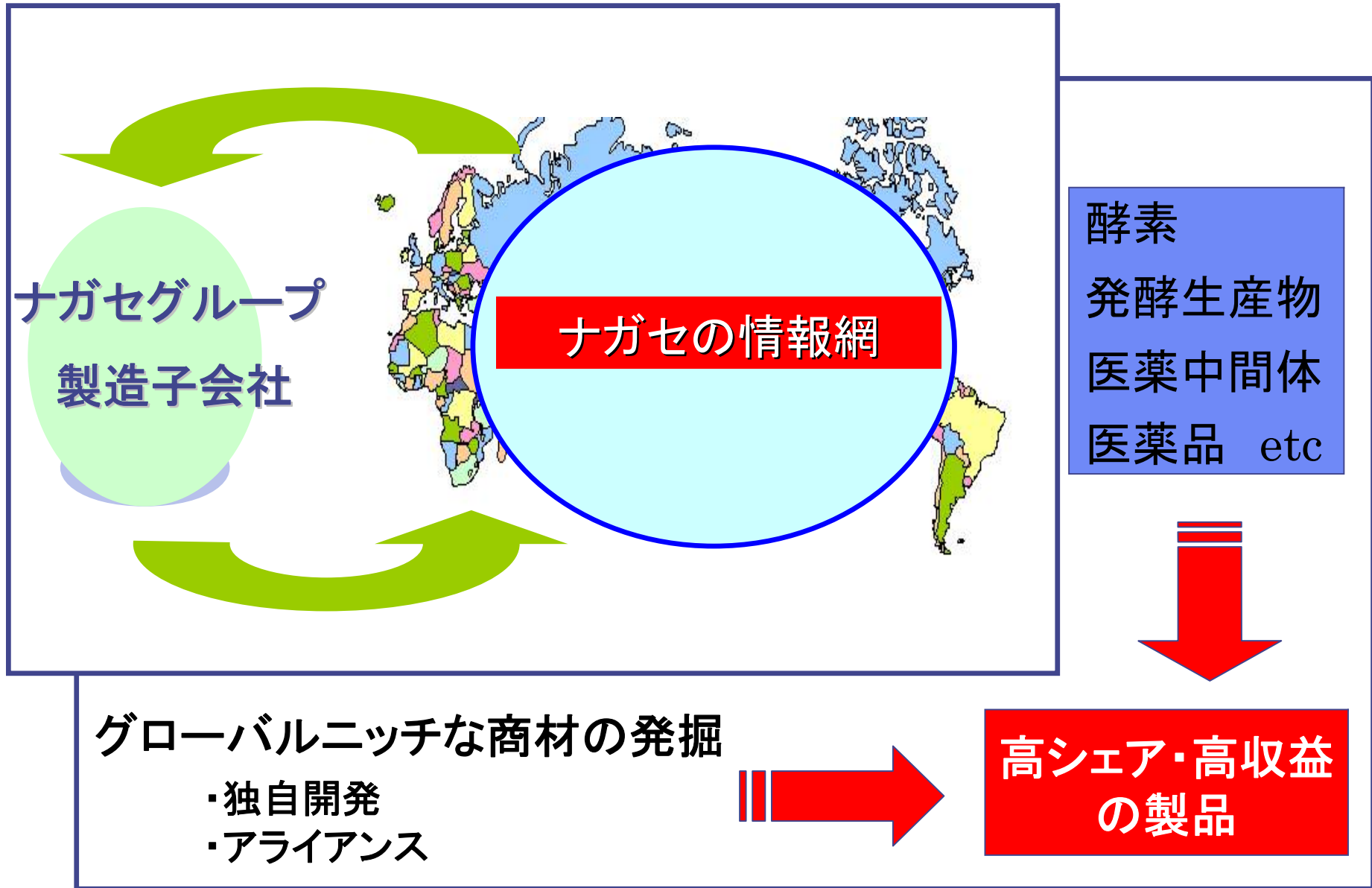
ナガセケムテックス(株)
福知山事業所



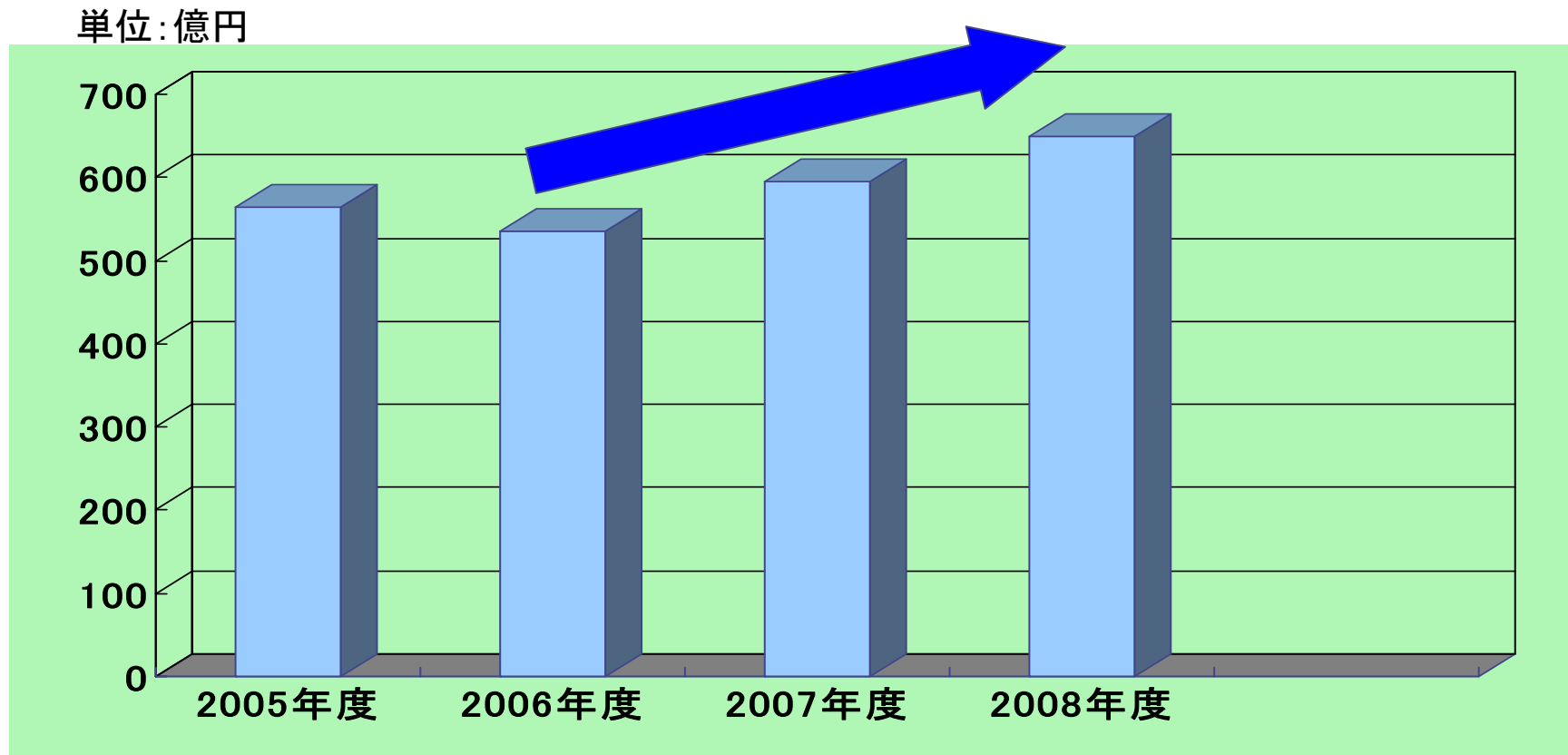
ナガセ医薬品(株)



ナガセR&Dセンター(神戸)



ライフサイエンス事業の売上推移



研究開発費 : 06実績 約11億円

投資計画 : 07計画 ナガセケムテックス(株) リン脂質設備 約6億円

ナガセ医薬品(株) 無菌製剤設備 約8億円

今後の予定 福知山事業所 再構築

ナガセグループの技術力

◆ プロセス開発技術

- ・ 不斉相間移動触媒や酵素を利用した非天然型アミノ酸の製法開発
- ・ 光学分割、バイオ(微生物・酵素)、有機合成を駆使したキラル化合物の製法開発(医薬品、医薬中間体、など)

◆ 酵素開発技術

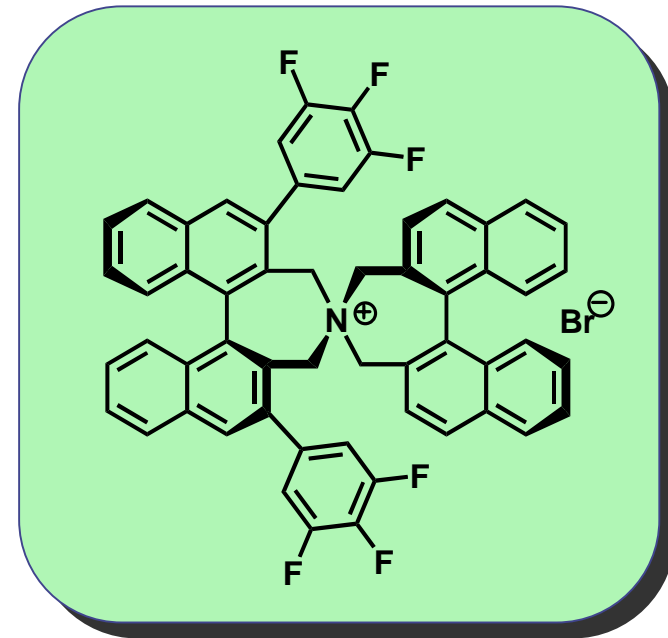
- ・ 資源化された放線菌ライブラリーを利用した新規酵素の探索と応用(リン脂質変換酵素とリン脂質群など)

◆ 天然物素材の探索・評価技術

- ・ 健康食品、化粧品の新素材開発

◆ 医薬製剤品の製造技術

- ・ 無菌製剤(注射剤・液剤)の製造
- ・ スプレードライ製法の医薬品への応用技術

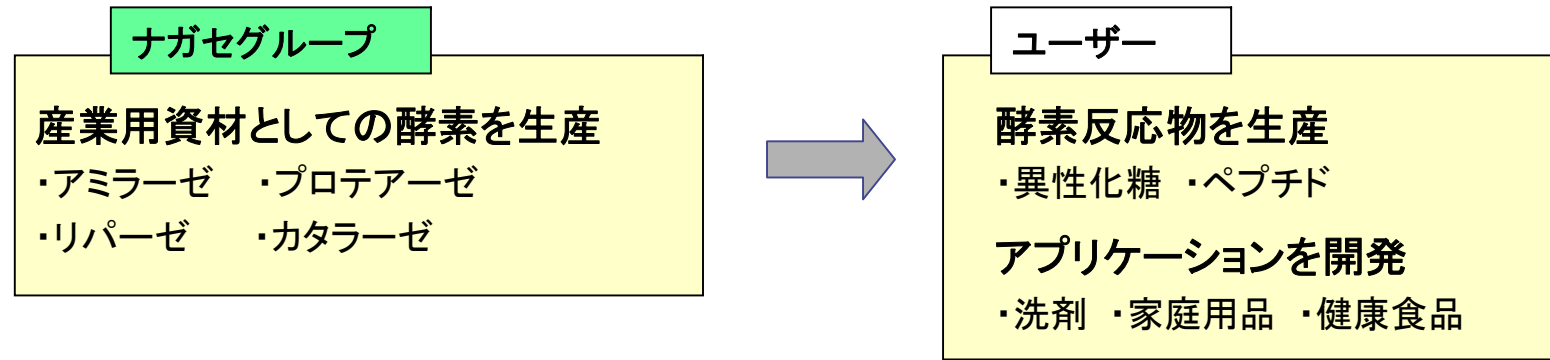


丸岡触媒 (USP 5,847,186)

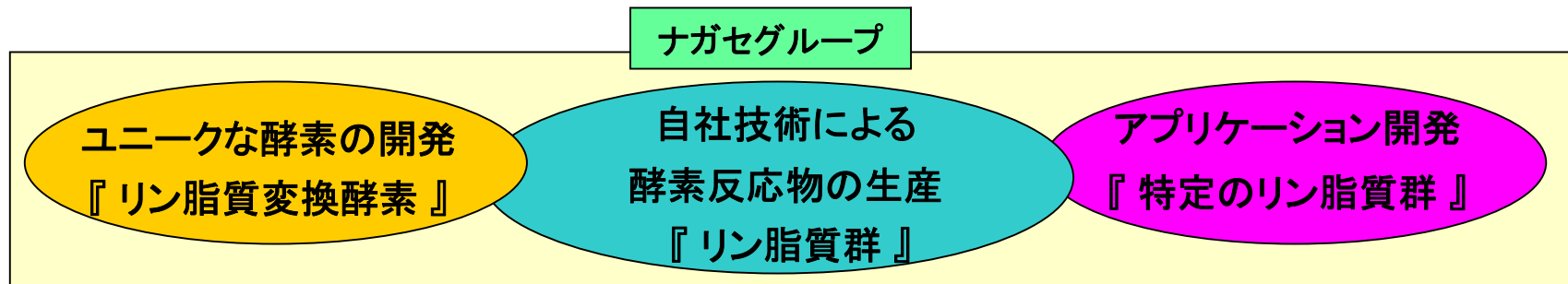
Maruoka, K. et al
J. Am. Chem. Soc. 2000, 122, 5228

酵素関連ビジネス

・ 従来のビジネスモデル



・ リン脂質のビジネスモデル



グループ内で最大限に付加価値を高めた商品を市場に提供する！！

リン脂質のビジネスモデル

ナガセグループ

放線菌を利用したユニークなリン脂質変換酵素の開発

- ・ PLD (ホスホリパーゼD)
- ・ PLA2 (ホスホリパーゼA2)
- ・ PLC (ホスホリパーゼC)
- ・ PLB (ホスホリパーゼB)
- ：

+

自社技術によるリン脂質群の生産

- ・ PS (ホスファチジルセリン)
- ・ PS-DHA (DHA結合型 ホスファチジルセリン)
- ・ LPA (リゾホスファチジン酸)
- ・ LPG (リゾホスファチジルグリセロール)
- ：

■ 例えば・・・

PLD(酵素)でのビジネスの場合
市場ポテンシャル 10百万円/年

付加価値の増大

PLD・PLA2を駆使したリン脂質群での
ビジネスの場合
市場ポテンシャル 数十億円/年

・リン脂質群の用途例

- ・ 健康食品 : PS (健能、老化防止)、PS-DHA (健能)
- ・ 乳化剤 : LPG (天然の乳化剤、天然の静菌剤、天然の改質剤)
- ・ 化粧品 : LPA (天然の美肌成分)



リン脂質製造設備建設予定地

知恵をビジネスにする技術・情報企業



長瀬産業株式会社

<http://www.nagase.co.jp>

当プレゼンテーション資料には、2007年5月17日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。